

## アーウィナーゼ筋注用10000

### 【この薬は？】

販売名	アーウィナーゼ筋注用10000 Erwinase for intramuscular injection 10000
一般名	クリサンタスパーゼ Crisantaspase
含有量 (1バイアル中)	10,000 U含有

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗悪性腫瘍酵素製剤と呼ばれる注射薬です。
- ・この薬は、L-アスパラギンを分解し枯渇させることにより、がん細胞におけるタンパク合成を阻害し、がん細胞の増殖を抑えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

**急性白血病(慢性白血病の急性転化例を含む)、悪性リンパ腫  
ただし、L-アスパラギナーゼ製剤に過敏症を示した場合に限る。**

### 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○患者さんまたは家族の方は、この薬の効果や注意すべき点について十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意した場合に使用が開始されます。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にアーウィナーゼ筋注用に含まれる成分で重篤な過敏反応を経験したことがある人
- ・過去にL-アスパラギナーゼ製剤による重篤な膵炎があった人

- ・妊婦又は妊娠している可能性のある人（動物実験で、胚・胎児死亡及び催奇形性が報告されています。）

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・膵炎の人、または過去に膵炎があった人
- ・凝固異常のある人、または過去に凝固異常があった人
- ・糖尿病の人
- ・骨髄抑制のある人
- ・感染症にかかっている人
- ・肝臓に障害のある人
- ・授乳中の人

## 【この薬の使い方は？】

- ・この薬は医療機関で使用される注射薬です。

### ●使用量および回数

- ・使用量、使用回数、使用方法等は、あなたの体表面積（身長と体重から計算）や症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

通常の使用量および使用間隔は次のとおりです。

他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、1日1回体表面積1㎡あたり25,000 Uを週3回、筋肉内に注射します。

- ・この薬の使用する液量や患者さんの状態によって、複数箇所に分けて注射されることがあります。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・膵炎があらわれることがあります。そのため、この薬の使用中は定期的に血液検査が行われます。
- ・血栓症、肺塞栓症、頭蓋内出血、APTT延長などの凝固異常があらわれることがあります。そのため、この薬の使用中は定期的に血液検査が行われます。
- ・高血糖があらわれることがあります。そのため、定期的に血糖値の測定が行われます。
- ・好中球減少、血小板減少、発熱性好中球減少症などの骨髄抑制があらわれることがあります。そのため、この薬の使用中は定期的に血液検査が行われます。
- ・肝不全、肝機能障害があらわれることがあります。そのため、定期的に肝機能検査が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は、この薬を使用することはできません。
- ・妊娠する可能性のある人は、この薬を使用している間および使用終了から一定期間は適切な避妊を行ってください。
- ・授乳している人は、医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
過敏症 かびんしょう	寒気、ふらつき、汗をかく、発熱、意識の低下、口唇周囲のはれ、息苦しい、じんま疹、発疹、かゆみ、全身のかゆみ、喉のかゆみ、動悸（どうき）
膵炎 すいえん	強い腹痛、背中痛み、お腹が張る、吐き気、嘔吐（おうと）、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る
凝固異常 ぎょうこいじょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、軽い打撲による出血性のこぶ、便が黒くなる <b>〔血栓症〕</b> ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ、鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、激しい頭痛、脱力、まひ、めまい、失神、目のかすみ、舌のもつれ、しゃべりにくい <b>〔肺塞栓症〕</b> 胸の痛み、突然の息切れ <b>〔頭蓋内出血〕</b> 突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐（おうと）、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
骨髄抑制 こつずいよくせい	発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸（どうき）、息切れ <b>〔血小板数減少〕</b> 鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい <b>〔好中球数減少、発熱性好中球減少症〕</b> 突然の高熱、寒気、喉の痛み
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
高血糖 こうけつとう	体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える

重大な副作用	主な自覚症状
感染症 かんせんしょう	発熱、寒気、体がだるい 〔肺炎、気管支炎〕 発熱、咳、痰、息切れ、息苦しい 〔敗血症〕 発熱、寒気、脈が速くなる、体がだるい 〔咽頭炎〕 喉のはれ
脳症 のうしょう	意識の低下、意識の消失、考える力の低下、記憶力の低下、異常な行動、けいれん、自分の意思とは関係なく身体が動く、歩行時のふらつき、口のもつれ、動作が鈍くなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	寒気、発熱、突然の高熱、疲れやすい、力が入らない、脱力、動作が鈍くなる、体がだるい、ふらつき、まひ、けいれん、自分の意思とは関係なく身体が動く、汗をかく、体重が減る、出血が止まりにくい
頭部	意識の低下、意識の消失、失神、めまい、頭が重い、激しい頭痛、突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然のめまい、突然の頭痛、異常な行動、考える力の低下、記憶力の低下
顔面	鼻血
眼	目のかすみ
口や喉	痰、咳、水を多く飲む、喉が渇く、喉のかゆみ、喉のはれ、喉の痛み、吐き気、嘔吐（おうと）、突然の嘔吐（おうと）、口唇周囲のはれ、歯ぐきの出血、口のもつれ、舌のもつれ、しゃべりにくい、突然言葉が出にくくなる、突然しゃべりにくくなる
胸部	動悸（どうき）、鋭い胸の痛み、押しつぶされるような胸の痛み、胸の痛み、息苦しい、息切れ、突然の息切れ
腹部	食欲不振、お腹が張る、強い腹痛
背中	背中痛み
手・足	脈が速くなる、ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ、歩行時のふらつき、突然片側の手足が動かしにくくなる
皮膚	かゆみ、全身のかゆみ、発疹、じんま疹、皮膚が黄色くなる、あおあざができる、軽い打撲による出血性のこぶ
便	油っぽい下痢が出る、便が黒くなる
尿	尿量が増える

## 【この薬の形は？】

性 状	白色の塊又は粉末
形 状	

## 【この薬に含まれているのは？】

有効成分	クリサンタスパーゼ
添 加 剤	塩化ナトリウム、ブドウ糖水和物、氷酢酸、水酸化ナトリウム

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。  
製造販売会社：大原薬品工業株式会社 (<https://www.ohara-ch.co.jp>)  
お客様相談室  
電話（フリーダイヤル）：0120-419-363  
受付時間：9時～18時（土・日・祝日・その他弊社休業日を除く）